

報告事項 5

愛知県義務教育問題研究協議会の報告について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成27年3月24日

義 務 教 育 課

指導者のための

若手教員の育成を図る研修の手引き < 概要 >

愛知県義務教育問題研究協議会

1 手引き作成の目的について

愛知県では、教員の大量退職、若手教員の大量採用により、学校現場において経験の浅い若手教員（正規採用2年目～6年目）の増加が進み、小・中学校ではこうした若手教員が占める割合が、教員全体のおよそ3割にもなっています。

また、社会状況や子どもを取り巻く環境の変化等を背景に、教育における課題は一層多様化・複雑化しており、学校においては、学力向上、いじめ、不登校などの課題が山積しています。

このような状況の中、各学校が教育力を保持し、地域や保護者からの信頼を得るためには、若手教員の育成は急務と言えます。

そこで、本協議会では初任者研修を終えた2年目から6年目までの若手教員を対象にした研修の在り方について協議し、平成25年度には指導者（校長・教頭・主幹教諭・教務主任・校務主任）と若手教員を対象にした実態調査を実施しました。そして、平成26年度は実態調査の結果を基に、若手教員の育成を図る研修について、指導者のための手引きとしてまとめました。

この手引きが、各学校における若手教員の研修の在り方の見直しや育成のきっかけに資することを願っています。

2 手引きの配布について

平成27年3月末、愛知県教育委員会義務教育課のWebページに、ダウンロード可能な電子媒体（pdf）として掲載します。

3 手引きの概要について

手引きは、前半の理論と、後半の研修事例に大きく分かれています。

前半の理論では、平成25年度、愛知県内の若手教員と指導者を対象に実施した実態調査の結果分析を基に、若手教員を育てる3つのポイントを提案しています。

若手教員を育てる3つのポイント

- (1) 願いをもつ
 - ・・・若手教員一人一人に期待をかけ、見通しをもって計画的に育てること。
- (2) 共に歩む
 - ・・・若手教員に寄り添うとともに、研修体制を構築して効果的な研修を進めること。
- (3) 未来へつなぐ
 - ・・・若手教員の学びを継続・発展させるため、経験豊かな人との出会いを取り入れた研修の充実を図ること。

後半の研修事例では、校内研修6事例、校外研修4事例を紹介し、事例ごとに「ねらい・方法・留意点」とともに、「期待する効果」を示しています。

4 手引きの構成について

はじめに

学び続ける教員を目指して

- 1 教員に求められる資質・能力
- 2 学び続ける教員の育成

若手教員を育てる

- 1 若手教員を育成する意義
- 2 学校現場で育てる必要性
- 3 若手教員を育てる3つのポイント

願いをもつ

- 1 「育成ビジョン」
- 2 「中期プラン」
- 3 「短期プラン」

共に歩む

- 1 寄り添いながら進める研修
- 2 研修を効果的に進めるために
未来へつなぐ

- 1 学びをつなぐ
- 2 人をつなぐ

研修事例

校内研修

- ・ 校内研修 1 模擬授業を通して学ぶ研修
- ・ 校内研修 2 事例から学ぶ研修
- ・ 校内研修 3 授業記録を活用した研修
- ・ 校内研修 4 役割演技を取り入れた研修
- ・ 校内研修 5 学校文化を楽しく学ぶ実技研修
- ・ 校内研修 6 若手教員による自主研修

校外研修

- ・ 校外研修 1 近隣校と学び合う研修
- ・ 校外研修 2 他校の研究授業で学ぶ研修
- ・ 校外研修 3 講座を自由に選択できる研修
- ・ 校外研修 4 少経験者のための研修

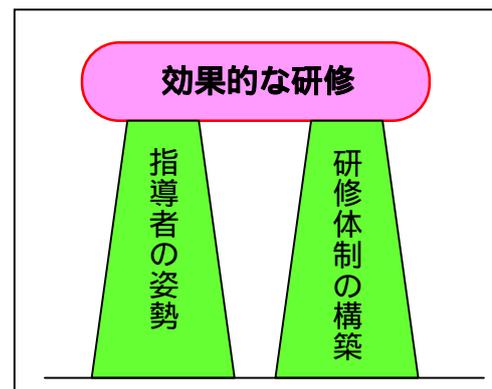
参考資料

おわりに

愛知県義務教育問題研究協議会 委員・専門部員・事務局一覧



【見通しをもって計画的に育てる】



【効果的な研修のために必要な二つの柱】



【若手教員による英語の模擬授業の様子】